

新庄南高金山校フォーラム

生徒の視点でまちづくりを提案

12月20日、全校生徒が参加する新庄南高金山校フォーラムが行われ、町の施策やまちづくりについて学習を深めました。生徒らは、事前に町職員から町の現状や課題を聞きとりしたうえで、提案書を作成。「神室スキー場にスノーパークを」や「タブレット・ヘルパーを活用した宅配支援」、「移動式コンビニをつくる」など、若い視点での提案がなされました。



▲1～3年生まで全12班から多岐にわたる提案がなされた

金山子ども食堂が1日限定オープン!

特製のラーメンと鍋に行列も

11月27日、金山小学校の5・6年生が1日限定で「金山子ども食堂」を大堰公園に開店し、米の娘ぶたを使ったお手製のラーメンと鍋を販売しました。出店は総合的な学習の時間の中で、起業家精神の育成を図るもの。児童らが販売計画を立て、値段も決めました。半年をかけて開発した味も大好評。樋渡蓮くん(6年・三枝)は「大勢のお客さんが来てくれてよかった」と笑顔で話していました。



▲想定を超える予約が入り行列が絶えない盛況ぶりだった

▼先生からアドバイスを受けながら飾り付けする児童



新年を幸せに迎えるために 有屋小でオリジナル門松づくり

年の瀬迫る12月12日、有屋小の全校児童33名が門松づくりに挑戦しました。西田和平さん(羽場)の指導のもと、6班に分かれて製作。縄結びや飾り付けに苦戦しながらも、立派なオリジナル門松が完成しました。細谷流唯さん(6年)は「難しかったけどよくできました。地域の皆さんに見てもらえて嬉しい」と出来栄えに満足そうな様子。門松は小学校や有屋地域の公民館に飾られます。

▼今回が初めての開催。集合写真から盛り上がり伝わります



これからも柔道に親しんで 金山中柔道部3年生の送別試合

12月8日、今年引退した3年生を金山中柔道部らしく送ろうと、金山柔道送別試合が行われました。試合は約20名の保護者やOBなどを合わせたトーナメント方式。顧問の齊木先生とオール一本勝ちで勝ち上がった庄司倭さんが手を合せた決勝戦は、6段を保有する先生が力を見せ勝利。先生は「高校でも柔道を続ければ、みんなきっと素晴らしい選手になるはず」とエールを送っていました。

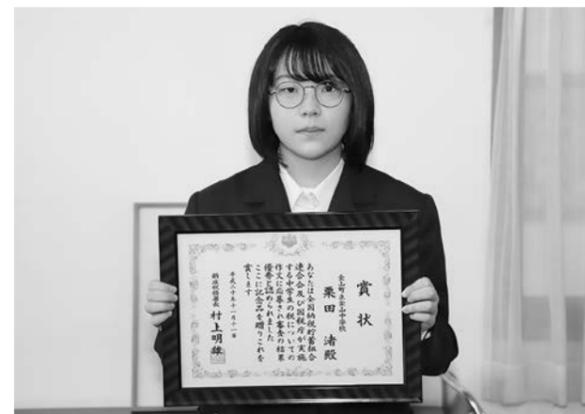
1_講師の小野卓也住職 2_めぐたま年長児が金山小唄で大会に華を 3_今年で一区切りを迎える伝統家庭料理展示試食会 4_女性団体主催のバザーは大盛況



中学生の税についての作文

栗田渚さんが新庄税務署長賞

平成30年度中学生の税についての作文で、金山中3年の栗田渚さん(十日町)の作品が、新庄税務署長賞を受賞しました。タイトルは「税金は悪者なのか?」。夏休み前に受講した租税教室で学び、感じたことを作文にしたそうです。栗田さんは「税金の役割を知っておくことが重要だと学んだ。まさか表彰されるとは思っていなかったので嬉しい」と受賞の喜びを話していました。



▲賞状を手に受賞の喜びを語ってくれた栗田さん

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

家族の絆について考える 「家庭の日」運動推進大会

町女性団体連絡協議会が主催する第42回金山町「家庭の日」運動推進大会が12月2日、中央公民館を会場に開催されました。洞松寺の住職小野卓也さん(長井市)が「家庭で楽しむ時間の作り方」と題して講演。子ども達との上手な関わり方をアドバイスされました。そのほか、伝統家庭料理の展示試食会などが行われ、家庭や地域とのつながりを考える良い機会となりました。

▼阿部直部会長と丹幸雄理事長(上段右から2・3番目)



金山活粋野菜倶楽部にら部会 山形県知事表彰を受賞

金山活粋野菜倶楽部にら部会が、農業部門の県知事表彰である「大高根農場記念山形県農業賞」を受賞しました。最上地域における先駆者として、にら栽培をリードしてきたことや、産地としての基礎を確立したことなどが大きく評価。現在は最上広域野菜振興協議会にら部会の中心を担い、「達人de菜」と名付けた統一ブランドで、年間販売額は10億円を越す大きな産業となっています。